

No.61

# けやき

TOPICS けやきが文部科学大臣表彰を受賞

特集 あたらしい活動のあり方を見つきたい  
図書館友の会けやきのこれまでとこれから

図書館友の会けやき ニュースレター 2020.7.3

## 特集 あたらしい活動のあり方を見つきたい 図書館友の会けやきのこれまでとこれから

新型コロナウイルス感染拡大の影響で休館していた京都市図書館では、5月中旬から段階的にサービスが再開されています。これまで通りのサービスが受けられないなか、図書館が私たちの暮らしに必要な不可欠なものであることに、あらためて気づかされました。

図書館友の会けやきは、これまで大人を対象にしたものから子どもを対象にしたものまで、図書館に関わるさまざまな活動をしてきました。しかし今、多くの活動を自粛せざるをえない状況です。

今号のニュースレターは、1月に企画編集を始めました。特集は「図書館友の会けやきってどんなことをしているの?」。けやきの活動を改めて知ってもらい、新たな交流を広げたい、たくさんの方の協力を仰ぎたい、そんな思いで作業を進めていました。ところが、3月からは活動が次々とできなくなり、

編集部ではけやきの活動への参加を呼びかける特集記事の見直しも検討。しかし、現時点で再開できていない活動も含め、けやきがどのようなことをしているか紹介することで、コロナ禍後の活動への道筋を見つけるきっかけにしたいと考え、発行に至りました。

今までのけやきの活動を知っていただき、今後図書館に何を求め、どう支えていくのか、これからの活動のあり方をぜひ一緒に考えてみませんか?

残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年7月3日時点では、図書館で集う活動はほとんど再開できていません。今後の活動の再開や休止はけやきのホームページで随時お知らせしていきます。

## 子どもと本が大好き!



### ◎おたのしみ会 ～であいを大切に～

1999年、図書館のオープニングイベントとして、ボランティアによる「おたのしみ会」が開催されました。これを機に「けやき」の中にグループ「であいの森」ができました。

以来、毎月定例として第4土曜日の11時より30分ほど絵本コーナーで開催しています。

また、4月は「子ども読書の日」記念イベント、12月はスペシャルおたのしみ会が左京図書館階上の会議室で開催されます。

毎月司書さんとボランティア各1名が担当、事前打ち合わせ、相談をしながら季節や年中行事などを考慮し、本選び、プログラム作りをしています。図書館でのおはなし会は赤ちゃんから小学生までと年齢幅も広く、プログラム作りが難しい面もありますが、絵本以外にも紙芝居や手遊び、パネルシアター、素話なども取り入れて、参加してくれた子どもたちに最後まで楽しんでもらえるよう工夫しています。

また、当日の子どもたちの年齢や雰囲気によって、読む本を変えたりプログラムの変更をしたりすることもあります。

今では「おたのしみ会」もすっかり定着し、子どもと一緒に楽しんでくれるお父さんやお母さんの姿も多く見られ、その日紹介した本が借りていかれるととても嬉しいです。これからも図書館とボランティアが協力し合う良い形を保ちながら、「おたのしみ会」が催されていくよう願っています。(石川)

### ◎赤ちゃん絵本ふれあいタイム ～手渡すよろこび～

毎週木曜日の10時半から12時、左京図書館絵本コーナーでは、オレンジ色のエプロンをつけた2～3名のボランティアスタッフが待っています。赤ちゃん絵本ふれあいタイムサポーターです。訪れた生後数か月から3歳くらいの乳幼児とお母さんに、それぞれの子どもの月齢や個性に合わせて選んだ絵本を読んだり、本選びのお手伝いや絵本についての相談に応じたりしています。

京都市の保健センターで8か月健診時に親子で絵本を読み合うことの大切さを伝えるブックスタート事業が始まったのが2003年秋。これを機に、図書館でも乳幼児向けのサービスを継続して行って子どもと本とをより深く繋ぎたいと、2004年2月より10数名のボランティアスタッフで活動を続けてきました。この16年間で約800回活動し、延べ約11000人の親子の参加がありました。最近では積極的にわが子に絵本を読むお母さんが増え、この場に集まったお母さん同士の交流やお父さん・祖父母の参加も出てきています。

あなたもサポーターになって、絵本を真ん中に赤ちゃんと一緒に楽しいひとときを過ごしませんか。(永井)

### ◎絵本学習会・えほんのひろば in きょうと

#### ～1冊をじっくり味わう～

最近、絵本を読んでもらったことはありますか？読んであげることはあっても、読んでもらう機会は少ないと思います。絵本は「読んでもらうもの」「年齢を選ばない本であること」、それを実感するのが、「絵本学習会」です。

「絵本学習会」は、赤ちゃん絵本ふれあいタイムサポーターの「子ども達にどんな本を手渡したらよいか」という思いに応える場として、2004年3月から始まりました。毎月第4金曜日（7月・12月・3月は第2金曜日）に、左京図書館階上の会議室で行われています。現在、保健所や小学校でのボランティア、子ども文庫関係者、絵本好きの人々など、30名以上が登録し、毎回10名前後の会員が集まって、和気あいあいとした学習会を続けています。

学習会では、色々なテーマに添い、絵本を読み合い、活

発な意見交換をしています。地区や年齢を超えての学習会は、会員同士の交流の場、各々の活動を助ける良き場となっています。学習会で得た知識を基に、会員たちは更なる活動の場を広げています。

「絵本学習会」のメンバーが関わっているイベントが、昨年で10回目になる、4月の子ども読書の日記念行事「えほんのひろばinきょうと」です。図書館階上の会議室いっぱい、約350冊もの絵本が表紙見せで並び、大人も子どもも、終日、自由なスタイルで絵本を楽しみます。今年度は4月に開催することはできませんでしたが、改めて実施できるよう、調整していく予定です。

みなさんも、「絵本学習会」や「えほんのひろばinきょうと」に参加し、子ども達や自分のための、心の糧、生きる力になる絵本を見つけませんか？ (伊藤)

### ◎左京図書館読み聞かせ交流会・絵本入門講座

#### ～活動に生かそう～

「読み聞かせ交流会」は2005年度から始まりました。もともとは、左京区南部の小学校の読み聞かせのボランティアが、絵本の選び方・読み方を学ぶ場として始まりました。

ボランティアの要望に応えるように変化してきて、近年では1回目・2回目は『絵本入門講座』、3回目は『実践交流会』の3日間の構成になっています。『絵本入門講座』は大学の先生の講座、司書による読み聞かせのコツ、京都科学読み物研究会会員による科学絵本のブックトークと多彩です。『実践交流会』はグループに分かれてのワークショップ形式です。参加者が選んだ絵本を各自が読み聞かせをし、意見交換を行います。活動で悩んでいることや疑問に思っていることをぶつけてみると、共感できたり解決の糸口になったりととても有意義な交流会です。

毎年、左京区の小学校へ開催の案内があります。また、『絵本入門講座』はどなたでも参加できるように、図書館で参加募集をしています。

1回だけの参加も可能ですので、ぜひ楽しい時間を過ごしにいらしてください。 (山田)

### 図書館を文化交流の場に



### ◎おとなのための語りを楽しむ会

#### ～心と耳を澄ませて～

毎年、秋も深まった頃「おとなのための語りを楽しむ会」が開かれているのをご存知でしょうか。日本や世界各地の昔話に耳を傾けて、大人の方にもおはなしの世界をたっぷり楽しんでいただく会です。大人向きの催しをという声にこたえて2001年より始まり、以来たくさんの昔話が語られてきました。

おはなしは子どもが聞いて楽しむものと思われがちですが、その楽しさは大人にとっても同じです。正義や邪悪、勇気や冒険、不思議や恐怖、愛や憎しみ、とんちやユーモア、あらゆるものがおはなしには詰まっています。また、限られた絵では描き表せないものも、現実には到底あり得ないことも、どんな不思議をも、おはなしは語ってくれます。おはなしならではの世界です。それ故子ども同様大人もまた、驚いたり、笑ったり、息をのんだり、深く頷いたりして、おはなしに耳を傾けて楽しむのでしょうか。

参加者からも、このような感想をいただいています。

「語って聞かせるということが、子どもに向けてばかりではないとわかった」「おはなしに聞き入ってしまい、子ども心に帰りました」「大人になってもおはなしを聞くのはいいもので、また次を楽しみにしています」「バラエティーに富んだプログラムで面白かった」「語りでそれぞれがイメージをふくらませて楽しむのは、とても魅力的な体験だと思います」

これまでに会は19回を重ね、語られたおはなしは130話余りになります。今年はどうなおはなしの世界が広がるのでしょうか。秋の日の午後のひととき、おはなしに耳を傾けてお楽しみください。 (奥坂)

## ◎講演会 ～あの人のお話をきいてみたい～

「左京図書館でも大人向きの催しを」と要望し、図書館との話し合いを重ねて、2002年度ようやく左京図書館との共催講演会が実現しました。左京区在住の素晴らしい活動をしている方を基本に、講師を依頼しています。第1回は現京都大学総長の山極寿一さんによる講演会「ゴリラの絵本をつくる」でした。これを皮切りに、講演会だけではなく、絵本の原画展や「ポーランドの絵本展」、ワークショップなども開催してきました。

十数年にわたり、けやきが主に企画してきましたが、2018年度のトークイベントは、司書さんの積極的な提案をけやきが後押しして実現しました。画家・装丁家の矢萩多聞さんとレティシア書房店主の小西徹さんをお迎えして、本を創る側や本を売る側の視点で『本』を語る“目から鱗”のお話が聞けました。

2019年度は、2020年3月に左京区在住の翻訳家石井登志子さんをお迎えし、アストリッド・リンドグレーンの作品と生涯やリンドグレーンの子どもたちへの思いについて、そして翻訳の仕事についてもお話し頂こうと、講演会を企画しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止せざるを得ませんでした。日程等を調整し、改めて開催できるよう計画しています。その際は、是非ご参加ください。

予算等の制約はありますが、左京図書館ならではの講演会や催しを今後も続けていきたいので、多くの方の提案・協力を期待しています。けやきの仲間になって、一緒に企画してみませんか。(山口)



読み聞かせ交流会の様子

## ◎図書館で発表会 ～本をよんだら～

2010年度から始まった「図書館で発表会」は、昨年度で10回目です。

この催しは、利用者が公共図書館を暮らしの中でどのように活用しているか、発表・交流する場です。そして、もっと図書館を利用する方が増えたらいいなと思って始めました。

昨年度は2月13日から3月15日まで展示され、小さい人から大きい人までバラエティーに富んだ以下の力作が集まりました。

「スーパー空気砲」「木彫」「カブトムシとクワガタムシ」「布ぞうり～思い出の服や買ったためた布を使って～」「フィールドワークのしおり 吉田山から黒谷へ」「点字新聞」「絵手紙～四季おりおり～」「『自然数のシナプス』と『自然数のエンテレケイア』」「にわ・でんしゃ・ライオン・き」

例年、発表会に展示する作品を、1月初旬から募集しています。「図書館の本を読んでこんなことができるのか」「私もこの本を読みたい」「今度は、私の作ったもの、調べたことを見てもらおう」と思わせる「図書館で発表会」です。(田中)



えほんのひろば in きょうとの様子



図書館と地域をつなぎたい



◎図書館懇談会 ～図書館とコミュニケーション～

2005年から始まった左京図書館とけやきによる「図書館懇談会」。これはけやきが図書館に要望して実現したものです。年に一度開催し、昨年で15回目となりました。毎回左京図書館長と司書さんにお越しいただき、けやき会員と意見交換をしています。図書館の現状や課題をうかがった後、利用者としての意見や要望を伝えたり質問をしたりします。

例えば一昨年の懇談会では、図書館が新しい取り組みを紹介され、少年鑑別所への出張ブックトークという、有意義な活動をされていることを知りました。図書館の社会での役割が拡大したようにも感じ、これはもっと広く知ってほしいとニュースレターにその経緯を寄稿いただくことに繋がりました。

また昨年は他市で公共図書館の本が大量に投棄されていた事件が話題に上りました。左京図書館は盗難防止のゲートがあっても紛失する本が年間10～20冊で、被害は少ない方だそうですがゼロではないとのこと。読みたい本を借りて帰るだけでは全く気付くことのなかったことです。利用者のマナーについても考えさせられました。

一方、けやきから図書館で読み聞かせなどの活動をした人のための講座の開催といった提案もしました。このように懇談会は図書館を知り、また図書館運営者と利用者という立場の違いを超えて、図書館をより良い場所にするための対話ができる貴重な機会です。あなたも図書館懇談会で図書館の可能性について話し合ってみませんか？

(北園)

◎ボランティア交流会 ～つながり広げて～

左京図書館で活動するボランティアが一堂に会す機会を持ちたいと、2013年6月に初めて実現した「ボランティア交流会」。図書館が募集する書架整理のボランティア、赤ちゃん絵本ふれあいタイムサポーター、おたのしみ会ボランティア、けやき会員が集い、左京図書館長や副館長にも同席いただいて、回を重ねてきました。

昨年の第6回の交流会では、17名が参加。各ボランティア活動のメンバー構成や、メンバー間での情報共有の仕方、解決したい問題などについて、情報交換をしました。それぞれの活動の詳細を聞くと、思わぬところに悩みがあることや、図書館に関わることができるという同じ喜びを感じていることに気づくことができました。活動内容は違っても、図書館の力になりたいと関わるもの同士、思いを共有することは、活動の原動力になり、職員さんや利用者とは違った視点で、図書館について考える機会となっています。

地域ぐるみで左京図書館を作るために、図書館が中心となって、人の交流が生まれています。書架ボランティアの方の参加がまだ少ないので、年に一度の貴重な機会をより多くの方に知っていただき、ボランティアの輪を広げたいです。

(澤田)



アフガニスタンの診療所から

けやきの  
本棚

No.61

中村哲著 筑摩書房 1993年  
著者中村哲氏は、2019年12月にアフガニスタンで凶弾に倒れ、この世を去った医師である。この本は1993年に出版された

ものだが、社会情勢に変化はあるものの、まったく古さを感じさせないのだ。いまま中村医師の意志が、文章を通して脈々と息づいている。日本人は、世界で起こっていることをどこか他人事のように見ているところがある。中村医師は、すべての人を平等に「診る」人なのだ。「助けることは助かること。」言葉は飾り気ないが、その言動ひとつひとつに愛情があふれている。(左京図書館・永井)

## ◎ニュースレター編集部

～こうなったらいいな！を伝える～

ニュースレター「けやき」を手にとっていただきありがとうございます。

今号は図書館友の会けやきの活動を知って頂き、これからを考える特集としましたが、テーマは毎号様々です。例えば左京図書館で利用者が協力する実践を紹介したり、京都市図書館の現状を中央図書館に取材、その課題を読者に伝えることも。さらに公共図書館の使命とは何だろうと、調べたり、勉強会に参加した結果を特集したりもします。また「おすすめの本の紹介特集」も人気です。

そもそもは1999年の左京図書館移転開館をきっかけに、左京図書館ってどんどこか知ってほしい、もっとこういうサービスがほしいといった願い、そして図書館と協力してこんなことができたという成果を広く知ってもらおう、そんな意気込みで創刊しました。60号を重ねた今もその志は変わりません。身近な図書館をより良いところにするために、学んで、知って、疑問に思ったことを尋ね、何が必要か提案したり、利用者ができることを考えるきっかけになればと活動しています。

編集担当のメンバーを中心に企画や取材を行い、そこで新たな学びや出会いにワクワクすることも。そして編集、レイアウト。事務局メンバーとともに印刷まで頑張っています。

図書館の未来に興味のある方、ぜひ一緒にニュースレターを作ってみませんか。(島崎)

## ◎事務局 ～よりよい活動をめざして～

図書館友の会けやきの活動は、事務局が中心となって企画提案し、総会で会員の承認を得て、実施しています。

けやきは左京図書館をはじめとする京都市図書館に様々な提案や協力していますが、事務局はそれらの連絡調整やまとめ役を担っています。

事務局メンバーは、図書館の各行事への協力やけやきの主催行事・ニュースレターの発行などを中心メンバーとして担い、それぞれの活動で得た成果や反省を持ち寄って話し合い、次の活動へと繋げています。

事務局が、月1回の左京図書館との定例ミーティングをはじめ図書館と適宜連絡を取るなかで、図書館の現状や今後の計画についての情報を得、けやきの様々な活動で得た利用者の声を伝えて要望や提案を行っています。

京都市図書館がより充実した素晴らしい図書館となるために、市民利用者の立場での積極的な提案を携えて、ぜひあなたもご参加ください。(永井)

けやきの活動を紹介してきましたが、特に子どもを対象とした活動では「密」にならざるを得ないものが多いことがわかります。しかし、近い距離でなければ届けられないものもあります。

これから、私たちは図書館に集い、本の素晴らしさを分かち合うために、どのような方法があるのか、見つけ出していきたいと考えています。気になる活動があれば、お問い合わせください。活動の日時、連絡先は最終ページに掲載しています。皆さまのご参加やご意見お待ちしております。

## とんでいったふうせんは

ジェシー・オリベロス文 ダナ・ウルエコッテ絵

落合恵子訳 絵本塾出版 2019年

人は思い出という風船を持っている。ぼくのは少し、おじいちゃんのはたくさん。「おじいちゃん、この紫色の風船は?」「ああ、それは結婚式の思い出だよ。」「じゃあ黄色のは?」一でも

ある時からおじいちゃんの手は次々と風船を離してしまう。とうとう最後の風船が飛んで行ってしまったとき、ぼくはあることに気付く。身近な人の老いに直面し、戸惑っている人の心にそっと寄り添ってくれる絵本です。翻訳者の落合恵子さんはお母様の介護を経験され、もっと早くこの本と出会っていれば、と思われたそうです。(左京区・コンチャマ)

## TOPICS

### けやきが文部科学大臣表彰を受賞

けやきが、令和2年度子供の読書活動優秀実践団体に選ばれ、文部科学大臣表彰を受けました。

けやきは、多くの会員が力を合わせ、赤ちゃん絵本ふれあいタイムやおたのしみ会などの行事や、絵本学習会・読み聞かせ交流会・ニュースレター・講演会など学習・交流活動に、設立以来長年取り組んできました。

今後も、これらの子どもと本をつなぐ活動を継続し、さらに深め広げていきたいと思えます。(永井)

### けやきの活動記録

2019年8月～2020年7月

2019/10/月上旬～ ニュースレター60号原稿依頼、作成、編集  
10/月上旬～ 講演会について検討、依頼  
10/4 「読み聞かせ交流会」第1回目  
10/11 「読み聞かせ交流会」第2回目  
10/15 「読み聞かせ交流会」第3回目  
10/31 ニュースレター60号特集取材(図書館インタビュー)  
11/16 「おとなのための語りを楽しむ会」開催  
12/月上旬～ 「図書館で発表会」チラシ配布  
12/2 ニュースレター60号印刷・発送  
2020/1/中旬～ チラシ作成・配布等、講演会の準備

1/下旬～ 「えほんのひろばinきょうと」準備  
2/月上旬～ ニュースレター61号原稿依頼、作成、編集  
2/13～3/15 「図書館で発表会」展示  
2/15～ けやき・左京図書館共催事業「石井登志子さん講演会」  
参加申込受付  
2月中旬～ 「えほんのひろばinきょうと」チラシ配布  
2/28 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「石井登志子  
さん講演会」中止決定、参加申込者に連絡  
5/25 再開館後の左京図書館にて子供の読書活動優秀実践団  
体の文部科学大臣表彰の表彰状を受ける。  
6/5 総会資料印刷  
7/3 ニュースレター61号印刷・発送

<図書館おたのしみ会に協力> (第4土曜日)  
2019/8/24、9/28、10/26、11/23、12/21、  
2020/1/25、2/22

<絵本学習会>  
(第4金曜日、3,7,12月は第2金曜日)  
2019/9/27、10/25、11/22、12/13、  
2020/1/24、2/28、3/13、6/26

<事務局会議><図書館とのミーティング>  
(主に第1月曜日)  
2019/9/2、10/7、11/8、12/2、  
2020/1/6、2/7、3/6、6/5、7/3

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>  
(毎週木曜日 10:30～12:00)  
2019/8/1・8・15・22・29、9/5・12・19・26、  
10/3・10・17・24・31、11/7・14・21・28、  
12/5・12・19・26、  
2020/1/9・16・23・30、2/6・13・20・27

### ソーニャのめんどり

フィービー・ウォール作 なかがわ ちひろ訳 くもん出版  
わたしは、ながのの山小やにとまったとき、「ソーニャのめんどり」をおもいだしました。かっていたアイガモがキツネにたべられてしまったので、山小やのおじさんがじょうぶな小やをつくりなおしていました。絵本の中のことが本とうにおこつて

いることにびっくりしました。土の上には、モグラがかおを出したあながたくさんありました。かっているヤギのおちちをしぼってチーズをつくったり、かぞくとどうぶつがしぜんの中でそのままくらしていました。わたしは、みやまの川でとった2ひきのイモリのせわをしています。でも本とうは、ソーニャみたいに、ひろいにわでヤギとニワトリをかいたいです。(小3 にこ)



## 図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

### であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。  
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

### 「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

### 誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

### ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

### 事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

### 絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

### 講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番  
口座名称 図書館友の会 けやき

◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。  
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

## けやき情報版

### 2020年度図書館友の会けやき総会 書面表決のお知らせ

会員の皆さんには別途お知らせしておりますとおり、2020年度の総会は活動報告・活動方針・会計予算・決算書を会員に郵送し、書面で承認の可否をお返事いただくことに決定しました。

図書館懇談会、左京図書館ボランティア交流会については、開催する方向で調整中です。日時が決まり次第、お知らせします。

## 編集後記

休館中、京都市図書館・京都府立図書館から予約した本を郵送してもらってサービスを利用しました。緊急事態下での特別な対応でしたが、包みを開くときはちょっとワクワク。発送作業は大変だったと思いますが、楽しみを届けてくださり、ありがとうございました。（澤田）

今号の編集を始めた1月には想像もつかない事態となりました。いつも身近にある図書館の休館、ともに活動するけやきメンバーとも集えず。当たり前のように思っていたことのかげがえのなさに気づかされる春でもありました。誰もが未経験で未だ手探りの状況の中、図書館が再開されたことに感謝しつつ、図書館が大切な存在であることを以前にも増して発信していきたいと思います。（鳥崎）

◇けやき 第61号 2020年7月3日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部  
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : [info@totomo-keyaki.com](mailto:info@totomo-keyaki.com)